



はじめよう経済学  
**第12講 IS-LM分析(1)**

講師：加藤 真也

# 今回(第12講)は…

- 投資関数
- IS曲線の導出
- IS曲線の右シフト

- **投資関数**

これまで  $I$ は定数

$$\text{新 } I = -a \cdot r + b$$

利子率

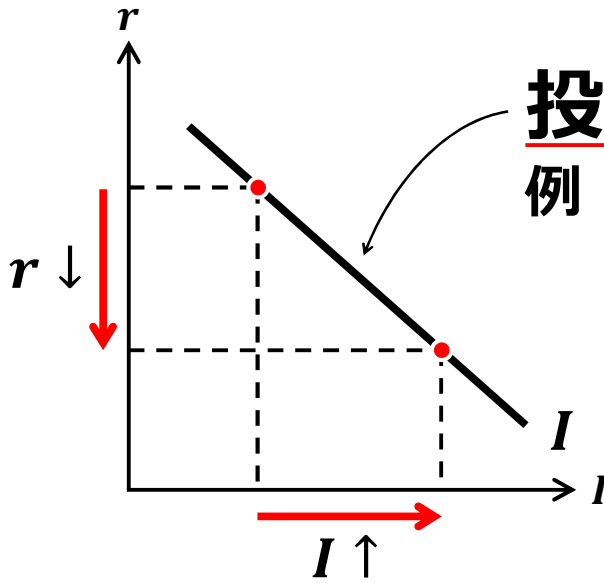
interest rate

## 投資曲線

例  $I = -2r + 6$

$$\rightarrow 2r = -I + 6$$

$$\rightarrow r = -\frac{1}{2}I + 3$$

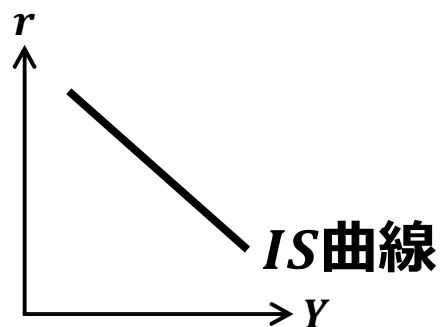


「**利子率** $r$  ↓ → **投資** $I$  ↑ はなぜか？」

## 理由

利子率(金利)が下がると、  
企業はお金を借りやすくなり、  
設備投資が活発になる

- **IS曲線の導出**



Investment : 投資  
Savings : 貯蓄

財市場均衡条件より、

$$Y = C + I + \cancel{G}$$

$$Y - C = I$$

政府がないモデル

$$S = I$$

政府がある( $G, T$ あり)  
モデルなら、

$$Y = C + I + \textcircled{G}$$

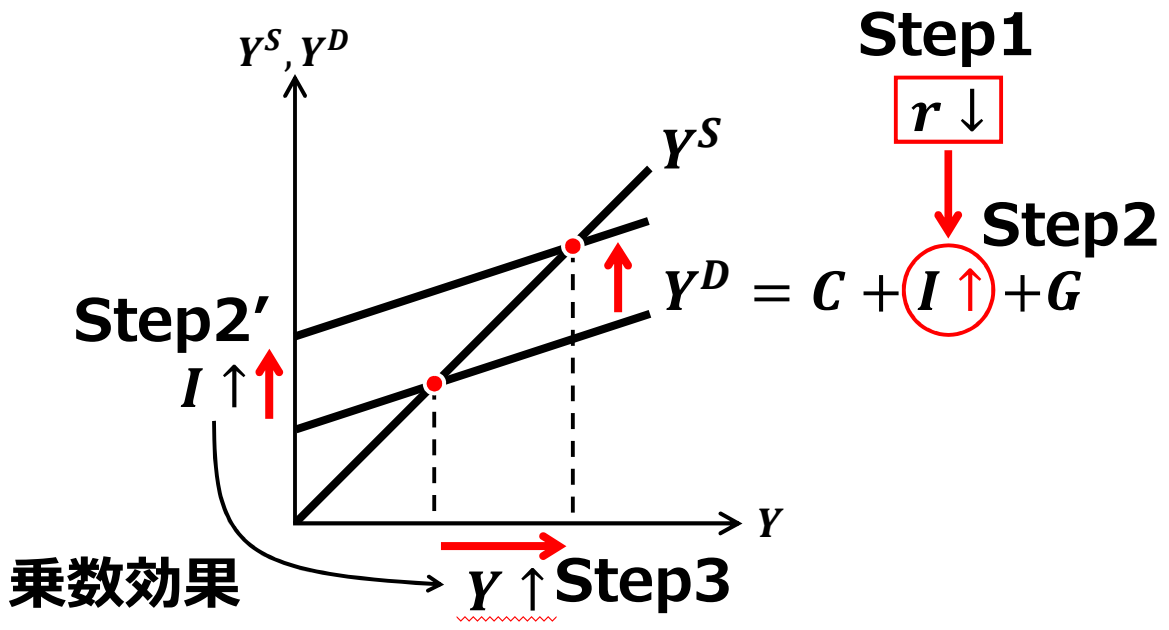
$$Y = C + I + G + \underline{T} - T$$

$$\underline{Y - C - T} + T = I + G$$

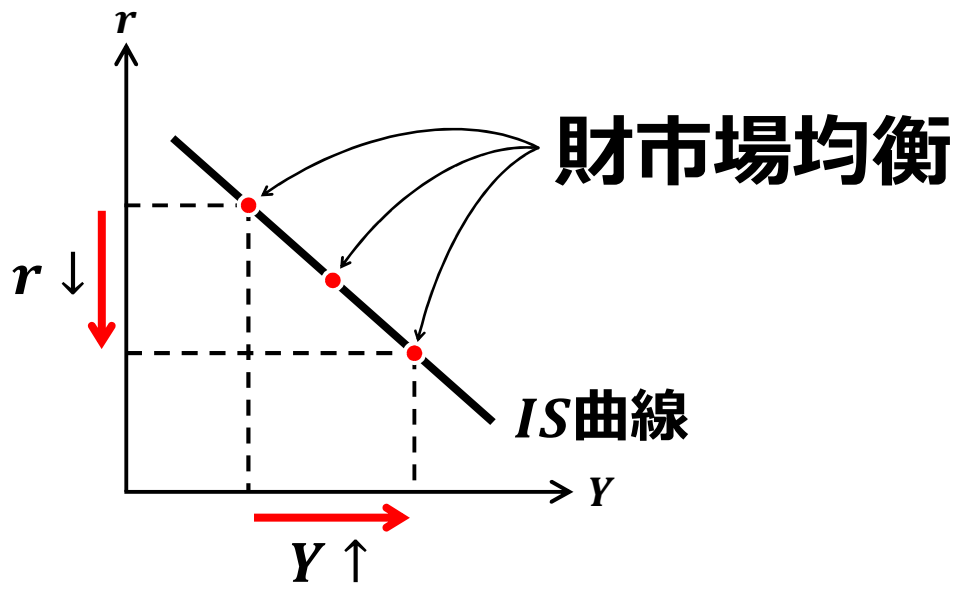


$Y - C - T = S$  であるので、

$$S + T = I + G$$



上図より、  
 $r \downarrow$  のとき、財市場が  
均衡するように  $Y \uparrow$



## 例題

$$Y = C + I + G$$

$$C = 0.8Y + 5$$

$$I = -r + 5$$

$$G = 10$$

のとき、IS曲線の式を求めよ。

# 解答

財市場均衡条件より、

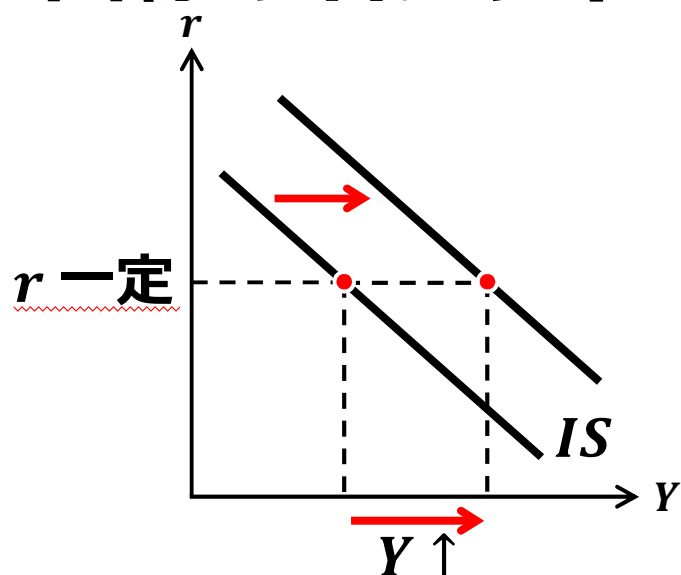
$$Y = C + I + G$$

$$Y = 0.8Y + 5 + (-r + 5) + 10$$

よって、

$$\underline{r = -0.2Y + 20} : \text{IS}$$

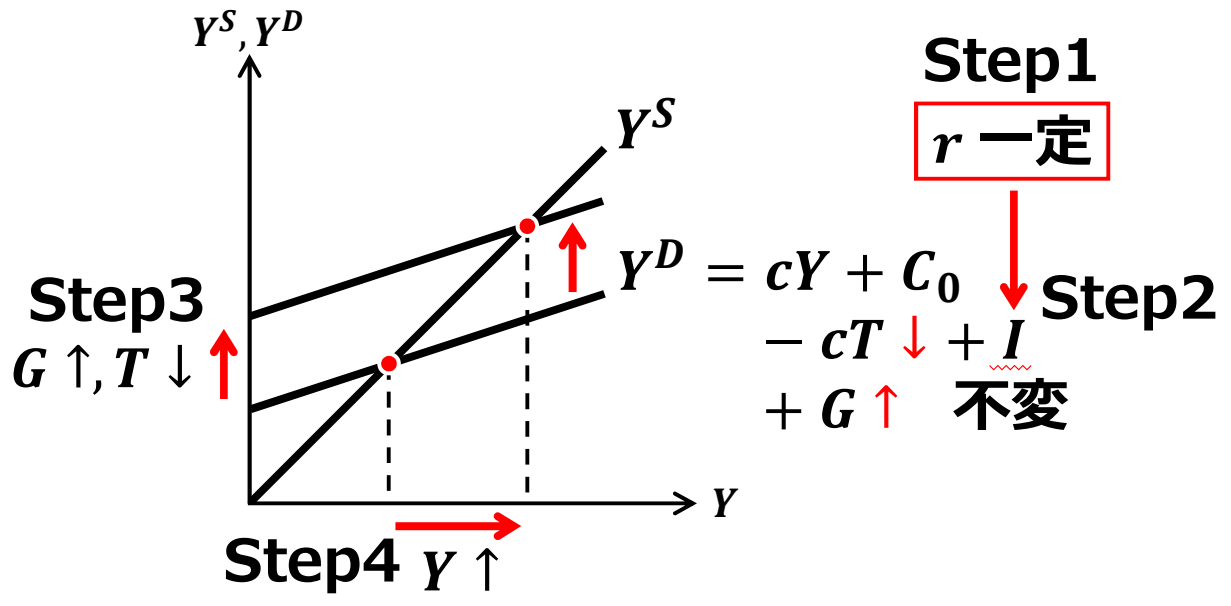
# • IS曲線の右シフト



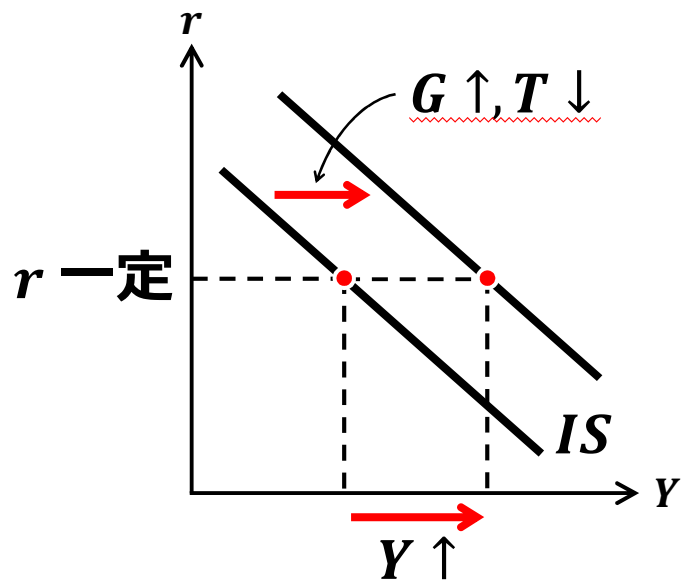
「 $r$ を一定として $Y$ を増やすには？」

結論  $G \uparrow, T \downarrow$   
拡張的財政政策





よって、  
 $r$ を一定のまま、 $G \uparrow, T \downarrow$ で  
 $Y \uparrow$ となる



ちなみに、  
緊縮的財政政策( $G \downarrow, T \uparrow$ )  
でIS曲線は左シフト

## 次回(第13講)は…

- ・ 今回はIS-LM分析の中のIS曲線について学びました
- ・ 次回はLM曲線を求めるために貨幣市場の勉強をします